

14. ECT の臨床経験

鴛海 良彦 鴨井 逸馬 一矢 有一
和田 誠 上原 智 島村 易
松浦 啓一 (九大・放)

最近, Emission CT (ECT) に関する報告がみられるようになったが, 私達も昨年11月島津製 ECT を使用する機会を得たので報告する。

本装置は検出器として Searle 製 P/G LFOV (コリメータ: LEAP 用, 中エネルギー用), データ処理は scintipac 1,200 を用いている。データ処理モードは 10° 毎に 30 秒 (40 秒) 採取。全データ採取に要する時間は 18 分である。

現在, phantom を作製中なので, 次回に基礎的検討について報告することとして, 今回は症例を供覧するにとどめる。

ECT 症例は昨11年月より本年 2 月まで 98 例である。

症例 1 31 歳 男 Hodgkin 病

^{67}Ga による頭部 ECT (transverse section)

症例 2 30 歳 女 Cushing syndrome.

^{123}I -アドステロールによる副腎 ECT (transverse section)

症例 3 75 歳 男 肺癌

^{67}Ga による胸部 ECT (transverse, coronal section)